

県内事務調査

去る5月14～15日、県内事務調査を行いました。一日目は、ホテルウエルビューかごしまにおいて、三名の講師による講演がありました。

「地方発・日本再生の道

～変革（チェンジ）への挑戦～

前総務大臣 増田寛也 氏

増田氏は、地方分権や基礎的自治体のあり方、また、地域活性化策について講演されました。地方分権は一つの手段であり、そこに住む職員（首長・議員を含む）の資質の向上が活性化の鍵となることや、市町村合併については、一定の効果は認められるものの、様々な問題も抱えていることから、検証する時期にきていると話されました。

「日本の食と農に未来はあるか」

J A 鹿児島県中央会常務理事 前田英文 氏

前田氏は、日本農業が現在抱えている課題を示され、国家戦略としての食糧安全保障の確立と、全国画一農政から自治体農政への転換が必要であると話されました。

「本県教育の振興策について」

県教育委員会事務局教育次長 大平和男 氏

大平氏は、国の教育基本法並びに関連法改正の説明と、

本県の教育振興策について講演されました。年々落ちつつある、児童生徒の学力調査の結果を踏まえ、教員の資質向上や家庭学習の定着が大事であると話されました。

二日目は、鹿児島市にあるかごしま環境未来館を見学しました。地球温暖化の実態やその対策、また様々なエコ活動等、地球環境への関心を高める研修となりました。

また、施設屋上の一部には、本町の野方にあるストーンワークス（株）の緑化基盤材により、青々とした芝生が敷き詰められ、夏季の室温上昇抑制や周辺への照り返し防止に役立つという説明を受けました。



環境未来館の展示ゾーン

甲佐町議会より来町

熊本県甲佐町議会（人口11,500人）から議会広報研修に来られました。（これまで、本町は全国町村議会議長会コンクールにおいて、奨励賞を受賞。）研修の中で、甲佐町広報委員より、特に本町広報誌の一般質問の欄が分かりやすく、コンパクトにまとめられているという評価を受けました。その他、議会運営等について有意義な情報交換を行い、充実した研修となりました。



「おおさき議会だより」は

私たちが編集しています。

平成21年第二回臨時会において、新しい議会の委員会構成が決まり、広報編集委員会も委員の構成が変わりました。今回から新しい広報編集委員で編集を行っています。

町民のみなさまにとって、親しみのある、読みやすい「議会だより」を目指しております。ご意見、ご感想がありましたら、お知らせください。

● 広報編集委員

委員長	中倉 広文
副委員長	坂元 正春
委員	小野 光夫
	宮本 昭一
	岩田 秀一
	神崎 文男

